

沖縄県(都道府県部門) が3年連続、愛知県長久手市(市部門) が2年連続 1位！ 人が集まる場の活気が地域元気の秘訣！ 全国「地域元気指数調査2017」発表

株式会社アール・ピー・アイ(所在地：千代田区 代表取締役：長澤 博英)は全国約10万人の20～69歳の男女を対象に、**住民自身が地域の元気度合いを評価する「全国『地域元気指数調査2017』」**を2015年から実施しており、今年で3年目になります。

地域元気指数とは、地域の総合的な元気度及び、元気の源となる47の評価要素を数値化したものです。これによって、全国の都道府県別・市町村別の元気度や元気の評価要素を共通のモノサシで測定することができます。また自己・他者評価として住みやすさ、土地柄など30項目をリサーチしました。県民性、地方の特長の一端がうかがえる結果となりました。

本調査は地域元気指数を定点調査しつつ、行政や住民自らが地域の元気を増幅することのできる施策や取り組みを明らかにし、地域の元気や個人の幸福度を高めることを目指しています。

【調査サマリー】

■ **地域元気指数(都道府県部門) トップ10では、沖縄県が第1位、東京都が第2位。増減率では熊本県が1位。**

全都道府県における地域元気指数トップ10は、**沖縄県(6.15)**が3年連続1位をキープ、東京都(6.11)は昨年1位から1ランクダウンした。一方、2016年からの増減率では、**熊本県(0.36増)**が1位、**青森県(0.29増)**が2位、**高知県(0.20増)**が3位。観光活性と特徴を活かした地域づくりが地域元気を上昇させたと考えられる。

■ **市部門は愛知県長久手市、町村部門では福岡県新宮町がそれぞれ堂々の2年連続第1位。**

市部門(580市平均5.75)地域元気指数トップ10では、**愛知県長久手市(7.21)**が堂々の2年連続1位。3位の**宮城県富谷市(6.67)**、7位の**茨城県守谷市(6.57)**など、人口5～10万人の市がトップ10に6市ランクイン(2016年は3市)。全体では4市が2016年に続いてトップ10入りを果たした。

町村部門(228町村平均5.50)地域元気指数トップ10では、**1位が福岡県新宮町(7.15)**、**2位が沖縄県北谷町(7.09)**、**3位が北海道芽室町(6.97)**。5町村が2016年からトップ10を維持。

■ **「都会である」「歴史がある」「気候がよい」は、自己評価・他者評価が比較的一致。「住みやすい」は自己評価では東京都、他者評価では静岡県が1位。県民性がうかがえる結果に。**

県民性の主観・客観性を図る質問では、「都会である」「歴史がある」「気候がよい」などで自己・他者評価の一致度が高かった。一方、「住みやすい」は、自己評価では東京都、他者評価では静岡県が1位。「子育て環境が整っている」は、自己評価では福井県、他者評価では神奈川県が1位となり、自己・他者評価に差がみられた。

■ **ヒト・モノの流動と地域人材・行政活動が、地域の元気を支えている。**

地域元気指数が高い市町村は、「新しいものを受け入れる風土がある」「地域に楽しめる場所がある」「地域内で若い人の姿を多く見かける」「地域のために頑張っている人が多い」「行政サービスが充実している」などの割合が高く、これらが地域の元気をつくる要因となっていると考えられる。元気指数ランキングで連続1位の沖縄県や愛知県長久手市では、商店街や集客施設等の活気が目立つ結果となった。

本リリースの調査データを以下にアップしております。

http://www.rpi.co.jp/genki/2017_tiikigenki.pdf

●全国「地域元気指数調査2017」に関するお問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル3階
E-mail: genki@rpi.co.jp 電話: 03-5212-3411

地域を元気にしたい。
RPI Regional
Planning
Institute

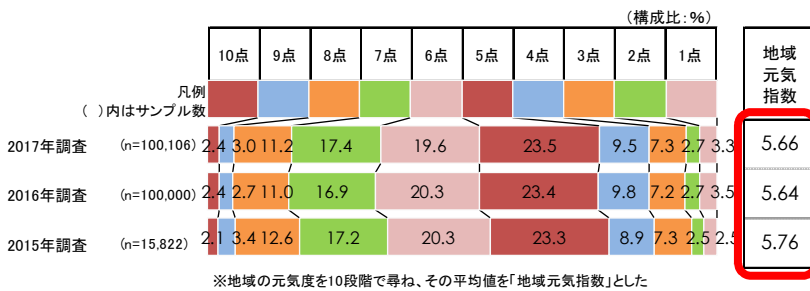
1. 地域元気指数と幸せ指数

今、日本の地域元気は5.66と中位で、昨年よりはやや回復。個人の幸せ感は6.11。

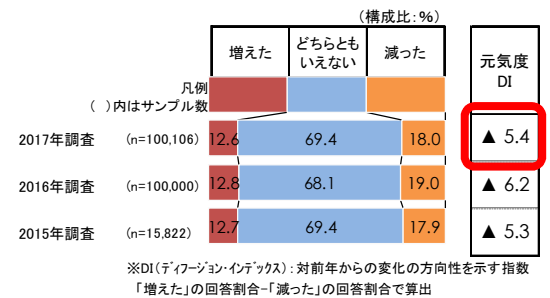
2017年、日本の地域元気指数（10段階評価）は5.66（全国平均）で中位の状態にあり、昨年の5.64から0.02ポイント上昇、DI※も-5.4ポイントで昨年よりも0.8ポイント上昇した。一方、個人の幸せ感は6.11で、昨年と同様の数値となった。

地域の元気と個人の幸せ感の関係においては、地域の元気が高いと、個人の幸せ感も高い傾向となることが明らかになった。

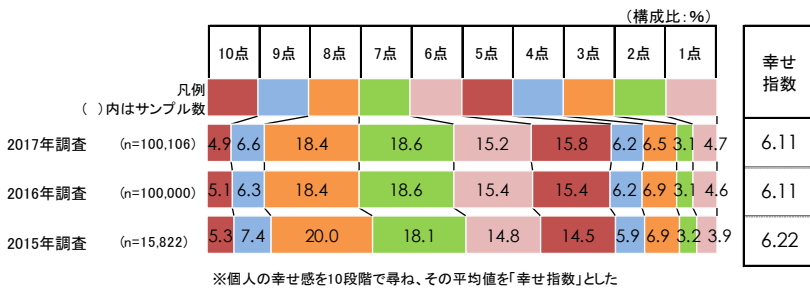
■ 地域の元気度（単一回答）



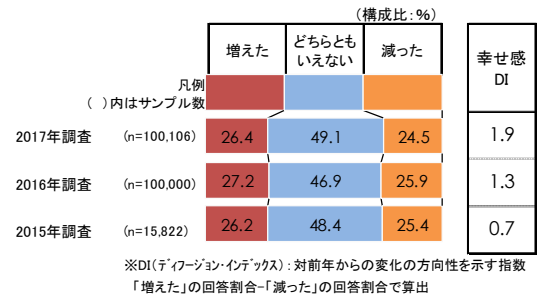
■ 地域の元気度の前年比（単一回答）



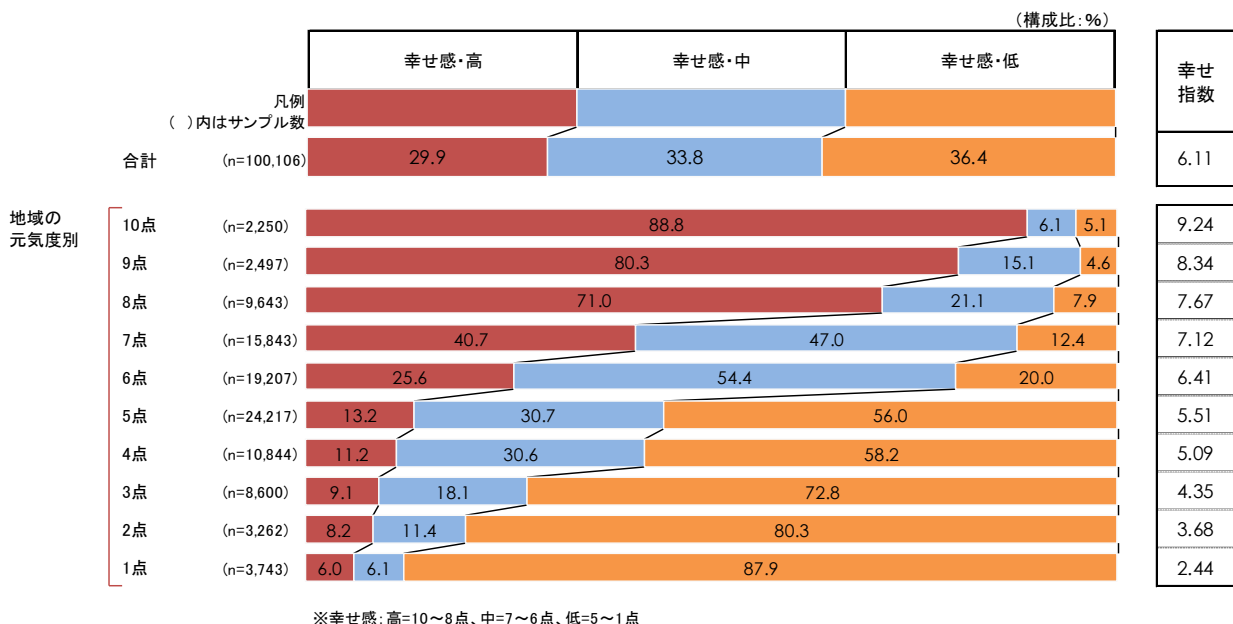
■ 個人の幸せ感（単一回答）



■ 個人の幸せ感の前年比（単一回答）



■ 地域の元気度別 個人の幸せ感（単一回答）



2. 都道府県別・市町村別 地域元気指数

全国「地域元気調査2017」

地域元気指数の都道府県トップ10は、沖縄県が第1位、東京都が第2位。増減では熊本県が1位。

全都道府県における地域元気指数トップ10は、沖縄県（6.15）が昨年に続き1位をキープ、東京都（6.11）は昨年1位から1ランクダウンした。一方、昨年からの増減では、熊本県（0.36増）が1位、青森県（0.29増）が2位、高知県（0.20増）が3位で、地域元気指数ランキングの中位～下位の都道府県が上位を占めた。

市部門は愛知県長久手市が堂々の2年連続第1位。

市部門（581市平均5.75）地域元気指数トップ10では、愛知県長久手市（地域元気指数7.21）が堂々の2年連続1位。3位の宮城県富谷市（6.67）、7位の茨城県守谷市（6.57）など、人口5～10万人の市がトップ10に6市ランクイン（昨年は3市）。全体では4市が昨年に続いてトップ10入りを果たした。

町村部門は福岡県新宮町が堂々の2年連続の第1位。沖縄県北谷町が第2位と大きく躍進。

町村部門（227町村平均5.50）地域元気指数トップ10では、1位が福岡県新宮町（7.15）が2年連続1位。2位の沖縄県北谷町（7.09）は12位から大きく躍進。3位の北海道芽室町（6.97）、5位の長野県軽井沢町（6.71）など、5町村が昨年からのトップ10を維持。

■ 都道府県別 地域元気指数(上位10)

()内は前年調査結果

順位	都道府県名	サンプル数	地域元気指数
1位 ← (1位)	沖縄県	n=1,279	6.15 (6.07)
2位 ↓ (1位)	東京都	n=6,083	6.11 (6.07)
3位 ← (3位)	神奈川県	n=3,628	5.99 (6.00)
4位 ↓ (6位)	石川県	n=1,065	5.95 (5.87)
5位 ↓ (4位)	福岡県	n=3,764	5.93 (5.96)
6位 ↓ (11位)	広島県	n=1,641	5.82 (5.68)
7位 ↓ (8位)	大阪府	n=6,658	5.81 (5.77)
8位 ↓ (6位)	兵庫県	n=4,228	5.80 (5.87)
8位 ↓ (9位)	京都府	n=2,021	5.80 (5.76)
8位 ↓ (5位)	愛知県	n=6,713	5.80 (5.88)
全国平均		n=100,106	5.66 (5.64)

■ 都道府県別 地域元気指数の増減(上位5)

※増減は「2017年地域元気指数」-「2016年地域元気指数」で算出

順位	都道府県名	サンプル数	増減	2017年	2016年
1位 15位	熊本県	n=1,016	0.36	5.61	5.25
2位 40位	青森県	n=1,221	0.29	5.12	4.83
3位 39位	高知県	n=491	0.20	5.18	4.98
4位 18位	岡山県	n=1,267	0.19	5.49	5.30
5位 23位	鹿児島県	n=1,097	0.18	5.44	5.26
全国平均		n=100,106	0.02	5.66	5.64

■ 市別 地域元気指数(上位10)

()内は前年調査結果

順位	市町村名	サンプル数	地域元気指数	市町村規模
1位 ← (1位)	愛知県長久手市	n=157	7.21 (7.17)	5～10万人未満の市
2位 ↓ (4位)	東京都武蔵野市	n=252	6.77 (6.82)	10～30万人未満の市
3位 -	宮城県富谷市	n=106	6.67 -	5～10万人未満の市
4位 ↓ (3位)	千葉県浦安市	n=210	6.60 (6.95)	10～30万人未満の市
5位 ↓ (11位)	東京都立川市	n=196	6.59 (6.55)	10～30万人未満の市
6位 ↓ (19位)	東京都府中市	n=267	6.58 (6.41)	10～30万人未満の市
7位 ↓ (8位)	茨城県守谷市	n=163	6.57 (6.59)	5～10万人未満の市
8位 ↓ (30位)	沖縄県豊見城市	n=79	6.56 (6.28)	5～10万人未満の市
8位 ↓ (21位)	石川県野々市市	n=97	6.56 (6.39)	5～10万人未満の市
10位 ↓ (28位)	京都府京田辺市	n=141	6.54 (6.30)	5～10万人未満の市
10位 ↓ (25位)	沖縄県浦添市	n=117	6.54 (6.34)	10～30万人未満の市
ランキング対象「市」平均		n=78,941	5.75 (5.72)	

※宮城県富谷市：2016年調査時は「宮城県富谷町」。

■ 町村別 地域元気指数(上位10)

()内は前年調査結果

順位	市町村名	サンプル数	地域元気指数
1位 ← (1位)	福岡県新宮町	n=63	7.15 (7.45)
2位 ↓ (12位)	沖縄県北谷町	n=36	7.09 (6.41)
3位 ↓ (4位)	北海道芽室町	n=27	6.97 (6.73)
3位 ↓ (13位)	群馬県吉岡町	n=36	6.97 (6.39)
5位 ← (5位)	長野県軽井沢町	n=30	6.71 (6.69)
6位 ↓ (2位)	沖縄県南風原町	n=37	6.69 (7.35)
7位 ↓ (9位)	静岡県長泉町	n=74	6.60 (6.46)
8位 ↓ (69位)	和歌山県有田川町	n=32	6.48 (5.72)
9位 ↓ (35位)	奈良県王寺町	n=50	6.46 (6.07)
10位 ↓ (28位)	広島県府中町	n=115	6.45 (6.15)
ランキング対象「町村」平均		n=9,303	5.50 (5.50)

※前年順位は「宮城県富谷町(2016年当時)」が入ったもの。

※ランキング対象市町村の基準

- 市：サンプル数が50件以上かつ人口3万人以上
- 町村：サンプル数が20件以上かつ人口1万人以上

※東京特別区部は、一体でカウント

※人口規模は、平成27年国勢調査時点での人口で分類

■ ランキング対象市町村数(2017年12月1日時点)

- 市：580(全市の73.2%)
- 町村：228(全町村の24.6%)

計：808市町村

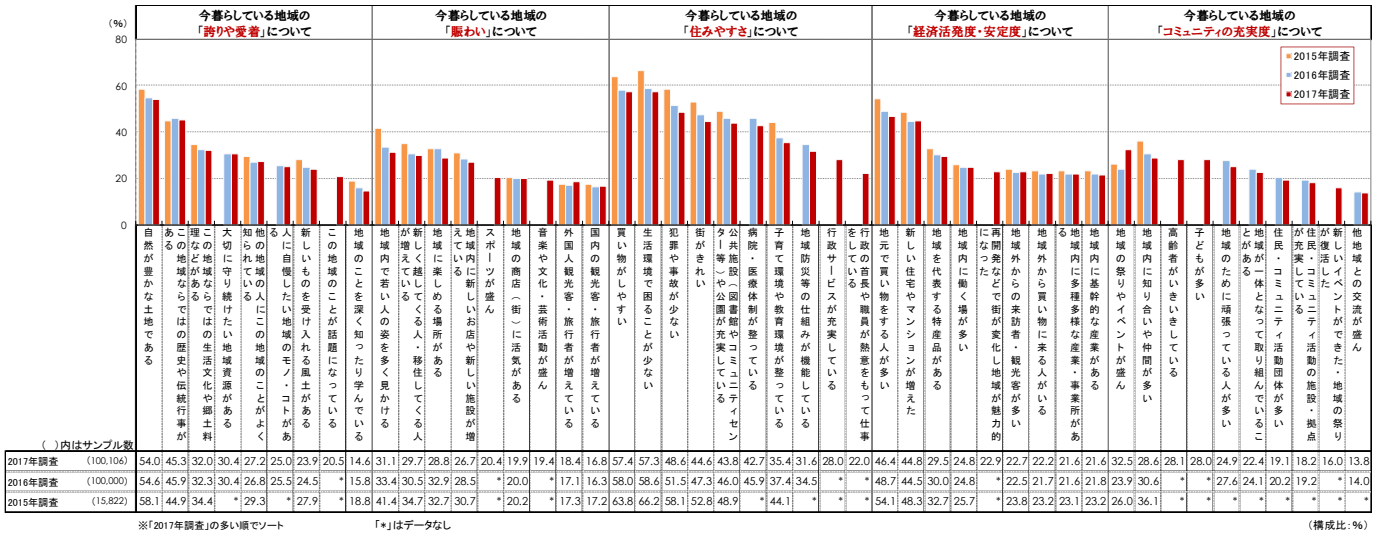
3. 地域元気の評価要素

全国「地域元気調査2017」

ヒト・モノ・カネの流動と地域人材・行政活動が、地域の元気を支えている

地域元気指数が高い市町村の理由を47要素に分けて調査し、秘訣を探った。「新しいものを受け入れる風土がある」「地域に楽しめる場所がある」「地域内で若い人の姿を多く見かける」「地域のために頑張っている人が多い」「行政サービスが充実している」などの割合が高く、これらが地域の元気を支える要因となっていると考えられる。総じて、商店街や集客施設等、人が集まる場の活気が、地域の元気を支えている結果になった。

■ 地域元気の評価47要素（それぞれ単一回答／「当てはまる」「やや当てはまる」の合計）



■ 主要要素別 市町村ランキング(上位5) (それぞれ単一回答／「当てはまる」「やや当てはまる」の合計) ※「地域元気ランキング」上位の市町村が上位にあげられた要素を掲載

視点	要素	順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
視点1「誇りや愛着」	要素9：新しいものを受け入れる風土がある	1位	北海道芽室町	n=27	65.8	町村 3位	町村
		2位	千葉県浦安市	n=210	56.7	市 4位	10~30万人未満の市
		3位	福岡県新宮町	n=63	56.2	町村 1位	町村
		4位	沖縄県北谷町	n=36	51.9	町村 2位	町村
		5位	愛知県長久手市	n=157	50.7	市 1位	5~10万人未満の市
全国平均 n=100,106 23.9							
視点2「賑わい」	要素1：地域の商店（街）に活気がある	1位	沖縄県北谷町	n=36	63.4	町村 2位	町村
		2位	東京都武蔵野市	n=252	57.4	市 2位	10~30万人未満の市
		3位	沖縄県石垣市	n=50	55.1	市 21位	5万人未満の市
		4位	神奈川県鎌倉市	n=187	46.9	市 40位	10~30万人未満の市
		5位	愛知県長久手市	n=157	46.7	市 1位	5~10万人未満の市
全国平均 n=100,106 19.9							
視点2「賑わい」	要素2：地域に楽しめる場所がある	1位	沖縄県北谷町	n=36	83.2	町村 2位	町村
		2位	千葉県浦安市	n=210	67.0	市 4位	10~30万人未満の市
		3位	東京都武蔵野市	n=252	66.4	市 2位	10~30万人未満の市
		4位	愛知県長久手市	n=157	64.2	市 1位	5~10万人未満の市
		5位	東京都立川市	n=196	59.7	市 5位	10~30万人未満の市
全国平均 n=100,106 28.8							
視点2「賑わい」	要素5：地域内に新しいお店や新しい施設が増えている	1位	沖縄県北谷町	n=36	85.1	町村 2位	町村
		2位	福岡県新宮町	n=63	77.7	町村 1位	町村
		3位	愛知県長久手市	n=157	75.9	市 1位	5~10万人未満の市
		4位	宮城県富谷市	n=106	72.9	市 3位	5~10万人未満の市
		5位	沖縄県石垣市	n=50	69.2	市 21位	5万人未満の市
全国平均 n=100,106 26.7							
視点2「賑わい」	要素6：地域内で若い人の姿を多く見かける	1位	沖縄県北谷町	n=36	83.2	町村 2位	町村
		2位	福岡県新宮町	n=63	75.8	町村 1位	町村
		3位	愛知県長久手市	n=157	73.2	市 1位	5~10万人未満の市
		4位	宮城県富谷市	n=106	72.3	市 3位	5~10万人未満の市
		5位	東京都武蔵野市	n=252	70.4	市 2位	10~30万人未満の市
全国平均 n=100,106 31.1							
視点3「住みやすさ」	要素9：行政サービスが充実している	1位	千葉県浦安市	n=210	65.6	市 4位	10~30万人未満の市
		2位	北海道芽室町	n=27	61.2	町村 3位	町村
		3位	大阪府箕面市	n=216	58.9	市 14位	10~30万人未満の市
		4位	長野県南箕輪村	n=24	56.6	町村 15位	町村
		5位	東京都武蔵野市	n=252	53.1	市 2位	10~30万人未満の市
全国平均 n=100,106 28.0							
視点4「経済活発度・安定度」	要素9：再開発などで街が変化し地域が魅力的になった	1位	福岡県新宮町	n=63	75.6	町村 1位	町村
		2位	沖縄県北谷町	n=36	63.8	町村 2位	町村
		3位	福岡県福津市	n=92	60.2	市 27位	5~10万人未満の市
		4位	愛知県長久手市	n=157	59.9	市 1位	5~10万人未満の市
		5位	沖縄県与那原町	n=26	57.3	町村 11位	町村
全国平均 n=100,106 22.9							
視点5「コミュニティの充実度」	要素8：地域のために頑張っている人が多い	1位	沖縄県石垣市	n=50	65.9	市 21位	5万人未満の市
		2位	北海道芽室町	n=27	61.8	町村 3位	町村
		3位	長野県南箕輪村	n=24	55.4	町村 15位	町村
		4位	和歌山県有田川町	n=32	50.6	町村 8位	町村
		5位	沖縄県北谷町	n=36	47.1	町村 2位	町村
全国平均 n=100,106 24.9							

4. 都道府県別 自己評価と他者評価

「都会である」「歴史がある」「気候がよい」は、自己評価・他者評価が比較的一致。「住みやすい」は自己評価では東京都、他者評価では静岡県が1位。

県民性の主観・客観性を図る質問では、「都会である」「歴史がある」「気候がよい」などで自己評価・他者評価の一致度が高かった。一方、「住みやすい」は、自己評価では東京都・福岡県・愛媛県、他者評価では静岡県・岡山県・神奈川県がそれぞれトップ3。「子育て環境が整っている」は、自己評価では福井県・石川県・沖縄県、他者評価では神奈川県・佐賀県・千葉県がそれぞれトップ3となった。

●自己評価と他者評価 評価項目

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
観光客がたくさん訪れている	住みやすい	1次産業（農林水産業）が盛ん	食がおいしい	人が優しい	都会である	田舎である	自然が豊かである	近代的である	歴史がある	交通基盤が整っている	地域的好奇心を刺激される	知的な人同士のつながりがある	清潔さや美しさが保たれている	街並みが美しい	気候がよい	にぎやかで楽しい	安全である	活力がある	親しみがある	先進的	洗練されている	伝統産業が盛ん	文化・芸術活動が盛ん	スポーツが盛ん	子育て環境が整っている	教育に力を入れている	先進産業が盛ん	国際性がある	

- ✓右の30項目について、それぞれ5段階（「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」）で評価
- ✓自己評価は、その都道府県の居住者が評価
- ✓他者評価は、居住している都道府県以外の都道府県をランダムに表示して評価

■都道府県別 自己評価と他者評価＜主なもの＞（上位5都道府県） （それぞれ単一回答／「そう思う」「ややそう思う」の合計）

自己・他者評価が比較的一致

自己・他者評価が比較的不一致

【都会である】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	東京都 n=6,083	43.2	1位 ← (1位)	東京都 n=336	89.4
2位 ← (2位)	大阪府 n=6,658	34.3	2位 ← (2位)	大阪府 n=335	78.4
3位 ← (3位)	神奈川県 n=3,628	34.2	3位 ↘ (6位)	愛知県 n=333	65.9
4位 ↘ (8位)	沖縄県 n=1,279	30.9	4位 ✓ (3位)	神奈川県 n=327	64.5
5位 ✓ (4位)	兵庫県 n=4,228	30.1	5位 ✓ (4位)	福岡県 n=335	60.1

【住みやすい】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ↘ (2位)	東京都 n=6,083	70.0	1位 ← (1位)	静岡県 n=330	53.2
2位 ↘ (3位)	福岡県 n=3,764	69.2	2位 ↘ (3位)	岡山県 n=330	51.7
3位 ↘ (7位)	愛媛県 n=1,262	69.0	3位 ✓ (2位)	神奈川県 n=327	50.3
4位 ← (4位)	沖縄県 n=1,279	68.2	4位 ↘ (8位)	千葉県 n=338	48.8
5位 ← (5位)	神奈川県 n=3,628	66.7	5位 ↘ (12位)	山梨県 n=332	45.9

【歴史がある】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	鳥根県 n=586	64.1	1位 ← (1位)	京都府 n=334	92.3
2位 ↘ (3位)	奈良県 n=2,143	61.1	2位 ← (2位)	奈良県 n=332	89.7
3位 ✓ (2位)	京都府 n=2,021	57.0	3位 ↘ (10位)	石川県 n=329	81.5
4位 ↘ (7位)	石川県 n=1,065	54.9	4位 ↘ (6位)	広島県 n=333	77.5
5位 ✓ (4位)	滋賀県 n=1,725	54.6	5位 ✓ (3位)	長崎県 n=330	75.9

【人が優しい】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	宮崎県 n=688	59.9	1位 ↘ (3位)	秋田県 n=334	76.8
1位 ↘ (2位)	鳥根県 n=586	59.9	2位 ↘ (5位)	山形県 n=329	70.7
3位 ← (3位)	山形県 n=1,210	56.5	3位 ✓ (2位)	沖縄県 n=335	69.7
4位 ↘ (8位)	高知県 n=491	55.9	4位 ↘ (7位)	北海道 n=332	69.1
5位 ↘ (12位)	岩手県 n=1,303	55.3	5位 ↘ (15位)	新潟県 n=329	64.9

【気候がよい】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ↘ (2位)	岡山県 n=1,267	68.4	1位 ↘ (5位)	愛媛県 n=330	61.4
2位 ↘ (4位)	香川県 n=966	63.3	2位 ← (2位)	静岡県 n=330	56.2
2位 ↘ (3位)	愛媛県 n=1,262	63.3	3位 ↘ (12位)	高知県 n=328	55.6
4位 ✓ (1位)	静岡県 n=2,779	63.0	4位 ↘ (13位)	香川県 n=331	54.7
5位 ← (5位)	宮崎県 n=688	54.7	5位 ↘ (6位)	岡山県 n=330	53.9

【田舎である】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ↘ (4位)	宮崎県 n=688	80.9	1位 ← (1位)	青森県 n=329	87.6
2位 ← (2位)	鳥取県 n=733	80.6	2位 ↘ (4位)	秋田県 n=334	86.2
3位 ↘ (6位)	山形県 n=1,210	80.4	3位 ← (3位)	徳島県 n=324	81.5
4位 ✓ (1位)	鳥根県 n=586	80.3	4位 ↘ (6位)	岩手県 n=328	79.6
5位 ✓ (3位)	高知県 n=491	80.1	5位 ↘ (29位)	山口県 n=332	79.3

【国際性がある】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	沖縄県 n=1,279	34.0	1位 ↘ (2位)	京都府 n=334	80.0
2位 ← (2位)	長崎県 n=976	27.4	2位 ✓ (1位)	東京都 n=336	76.1
3位 ← (3位)	京都府 n=2,021	25.5	3位 ↘ (4位)	沖縄県 n=335	58.1
4位 ← (4位)	広島県 n=1,641	24.9	4位 ✓ (3位)	神奈川県 n=327	57.9
5位 ↘ (6位)	神奈川県 n=3,628	23.4	5位 ↘ (6位)	広島県 n=333	49.9

【子育て環境が整っている】

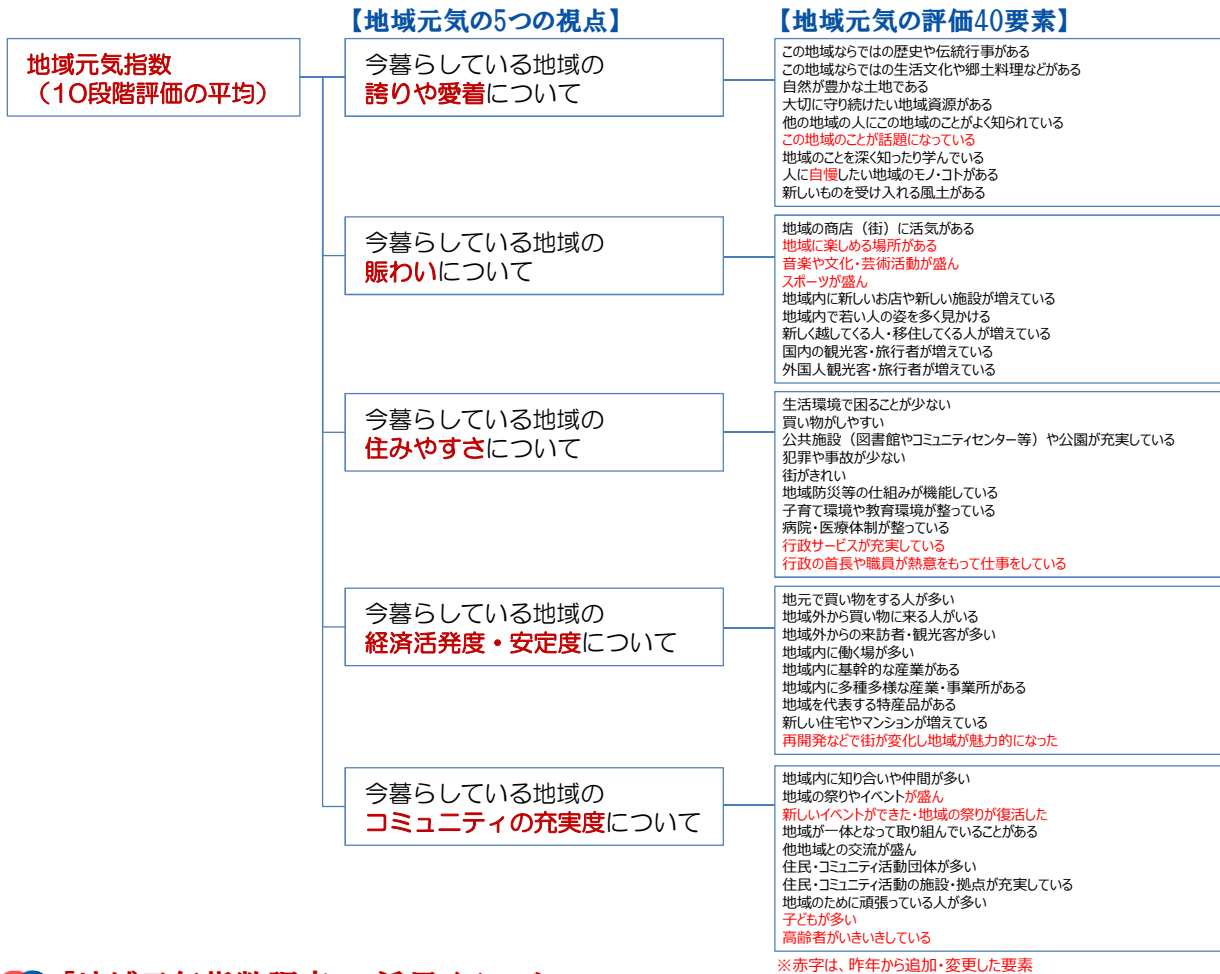
自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	福井県 n=806	46.5	1位 ↘ (15位)	神奈川県 n=327	37.8
2位 ↘ (3位)	石川県 n=1,065	40.3	2位 ↘ (24位)	佐賀県 n=329	37.3
3位 ↘ (5位)	沖縄県 n=1,279	37.3	3位 ↘ (28位)	千葉県 n=338	37.1
4位 ← (4位)	兵庫県 n=4,228	36.0	4位 ← (4位)	静岡県 n=330	35.7
5位 ↘ (6位)	東京都 n=6,083	35.6	5位 ↘ (14位)	秋田県 n=334	35.3

調査概要

- 【調査方法】 インターネットによる調査（マクロミルモニター）
- 【調査対象】 全国20～69歳の男女
- 【調査時期】 2017年8月4日～8月16日
- 【サンプル数】 1次調査 100,106人 2次調査 15,556人
- 【集計方法】 平成27年国勢調査市区町村人口に基づき、人口規模30区分×男女×年代3区分＝180区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行った。

「地域元気指数」の構成要素

地域元気指数は、その地域に居住している住民が主観的に自らの地域の元気度合いを10段階で評価した平均値の「地域元気指数」と、地域の元気度合いの要因を詳細に分析する「地域元気の5つの視点」それぞれに「地域元気の評価要素」8～10つ、計47（昨年までは40）の「地域元気の評価要素」をもって構成されます。



※赤字は、昨年追加・変更した要素

「地域元気指数調査」の活用イメージ

本調査結果は、都道府県別・市町村別にアウトプットし、各地域の地域運営に資する有益なデータとして活用していただきたいと考えております。

例えば、地域元気の評価47要素を詳細に分析することによって、各地域の元気を支える要因や、弱い項目＝地域課題を明らかにし、これからの施策立案や地域住民との相互理解に役立てることができます。

また、経年調査であることから、施策のKPI（重要業績評価指標）のひとつとして、効果検証や進捗管理等への活用も期待できます。

株式会社アール・ピー・アイのご紹介



アール・ピー・アイは「まちづくり」を中心とした、調査・コンサルティング・事業プロデュース・運営サポートを行う会社です。

私たちは地域づくりのさまざまな分野、場面において、地域が抱えるテーマに対し、ともに最適解を導きだし課題を解決する、グッドパートナーとしてチカラになることを目指しています。

私たちは、地域を元気にし、より多くの人々が幸福な生活をおくることのできる地域社会の実現に向けて、これからも労を惜まず、情熱をもって努力し続けます。

※プレスリリースの内容や引用についてのお問い合わせは、株式会社アール・ピー・アイ（電話：03-5212-3411）までお願いいたします。